

別表1(第2条関係)

木島平村住まいづくり促進事業の指標(基準内容の詳細は別に定めた基準による。)

特徴	項目	基準内容
ア. 景観にあった外観の整備	① 配置	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 堆雪スペースの確保</li> <li>□ 道路面の緑化(沿道美化)</li> <li>(村条例:柳久保、池ノ平、馬曲地区/建坪率 20%)</li> <li>(村条例:壁面線の後退/10m、5m)</li> </ul>
	② 規模	□ 周辺環境に圧迫感、威圧感を与えない
	③ 屋根	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 雪の処理を考慮した勾配屋根(切妻、大屋根、片流れ;雪割棟)</li> <li>■ 屋根の色:周辺集落景観を配慮(遠景の重要性)</li> <li>△ 屋根材は積雪寒冷地である事を考慮</li> </ul>
	④ 外壁	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 周辺集落景観を考慮(白・土蔵色等/柱は黒又は茶褐色等)</li> <li>□ 雪の浸透を防ぐ工夫(鉄板サイディング;色彩は集落環境と調和)</li> </ul>
	⑤ 階数	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 景観上高社山など周囲の山並みを超えない範囲</li> <li>△ 高床の場合には集落環境との調和を図る</li> </ul>
	⑥ 緑化	△ 在来種による敷地内の緑化を図る
イ. 安全安心の住まい	① 構造	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主要構造部は木造</li> <li>□ 伝統工法等地域にあった構造</li> <li>□ 耐震・免震など震災につよい住まい</li> </ul>
	② 積雪対策	■ 積雪を考慮した住まい(雪割棟、隣等間隔などを考慮)
	③ バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 高齢者の暮らしを考慮(転倒防止等の対策)</li> <li>□ (冬場の)玄関回り等の安全性の確保</li> </ul>
	④ 設計施工等	■ 地元の建築業者との連携
ウ. 環境に優しい住まい	① 自然との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>△ 廊下や下屋の活用(軒先の長さ)</li> <li>△ 蓄熱効果(土壁等の活用)</li> <li>■ 断熱化効果(複層ガラス又は二重サッシ及び断熱材)</li> <li>△ LEDの導入</li> </ul>

	② エネルギー	■ソーラーパネル等の導入 △薪ストーブ等の導入
エ. 健康に優しい住まい	① 地場の自然素材の活用	■長野県産木材の活用(全木材使用量の50%以上) *注1 □天然資材の活用
	② シックハウス対策	□化学物質を使わない

※1 基準内容欄の「■」は重点的な取組、「□」及び「△」は望ましい取組を表す。

※2 ※1の取組は、■=6点、□=3点、△=1点として計算し、100点満点とする。

※3 第2条第1項第2号の要件を満たすためには、新築工事は100点満点中70点以上、増築工事は長野県産木材の活用を原則として、ア～エの特徴のうち該当する項目の基準内容中の重点的な取組に配慮することが必要

\*注1:木材使用量の計算方法は、1㎡あたり0.1m<sup>3</sup>使用されている場合に50%とみなす。